NEWS RELEASE

Umios 株式会社　経営企画部 ブランドコミュニケーション・広報グループ
〒108-8620　東京都港区高輪二丁目 21 番 2 号

2026 年 11 月 19 日

～アルベンダゾールを用いた「ベコ病」治療薬の発明に成功～

「ぶり等のベコ病治療薬」の発明が「令和8年度中国地方発明表彰」日本弁理士会会長賞および実施功績賞を受賞

Umios株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：安田 大助）は、林兼産業株式会社（本社：山口県下関市、取締役社長：中部 哲二）および国立大学法人東京大学（所在地：東京都文京区、総長：藤井 輝夫）とともに、モジャコ（ブリの稚魚）に発生する感染症である「ベコ病」に対し、有効成分アルベンダゾールを用いた治療薬を発明し、また、最適な投薬時期・期間・間隔・量を確立することで、ブリの出荷時のベコ病病変（ベコシスト）をほぼゼロに抑える防除方法を開発したことが評価され、公益社団法人発明協会による地方発明表彰のひとつである「令和8年度中国地方発明表彰」の日本弁理士会会長賞および実施功績賞を受賞しました。

本発明により、モジャコの安定確保、出荷時の品質問題の解消、持続可能な養殖経営の実現が可能となり、ブリ類養殖業界の根本的な課題解決に貢献しています。さらに、当該治療薬は、クロマグロ・マダイ・ヒラメ等にも効果がある可能性を含むことから、将来的にはこれらの養殖への活用も期待できます。



■発明の概要

ベコ病は微胞子虫の１種である*Microsporidium seriolae*を原因とするモジャコの感染症です。感染によって魚体に凹凸が生じ、出荷時に病変が残存すると商品価値が大幅に低下することから、甚大な経済的損失をもたらしてきました。しかし有効な治療薬が存在しなかったことから、防除方法の確立が急務とされていました。

本発明は、ベコ病の治療薬として、アルベンダゾールの有効性を特定し、また、最適な投薬時期・期間・間隔・量を確立することで、出荷時のベコ病感染をほぼゼロに抑える防除方法を開発したものです。

■受賞発明

ぶり等のベコ病治療薬の発明（特許第6343796号）

■日本弁理士会会長賞　受賞者

会社・役職名	発明者・受賞者名
Umios株式会社　鮮魚・まぐろ部　鮮魚・まぐろ課　課長代理	小川　大樹
林兼産業株式会社　飼料事業部　アクアメディカル・ラボ　所長	藤田　幸辰
岡山理科大学　獣医学部　教授（元　東京大学　大学院農学生命科学研究科（農学部）　助教）	横山　博

■実施功績賞　受賞者

会社・役職名	受賞者名
Umios株式会社　代表取締役社長執行役員	安田　大助
林兼産業株式会社　取締役社長	中部　哲二
国立大学法人東京大学　総長	藤井　輝夫

Umiosは"海を起点とした価値創造力で、「食」を通じて人も地球も健康にするソリューションカンパニー“として、タンパク質の提供と持続可能な水産業の発展を通じて、これからも食から広がる豊かなくらしとしあわせに貢献してまいります。

以上

報道各位からのお問い合わせ先
Umios 株式会社　経営企画部
ブランドコミュニケーション・広報グループ
メール　media@umios.com

地球の宿題に、食で答える。